



人 人 にんにん連携



『にんにん連携』と多職種による事例検討会の効果

公立甲賀病院 副看護部長 地域医療連携室 室長 寺村 幸子

今年度計画していた事例検討会は、「難病患者」の連携に始まり、「がん患者」、「サービス拒否の高齢者世帯」、「リハビリテーション」、「高齢者虐待ケース」と 5 事例について、すべて終了しました。今回の「高齢者虐待ケース」では、事例検討のグループワークの後に、甲賀市・湖南市からも虐待ケースに対する取り組みについて、マニュアルを提示しながらご報告いただき、困ったときの対応がより具体的になったと思います。虐待かな？と思った時に皆さまに利用していただければと思います。検討会に参加し、多職種の生の声（意見・考え）を直に聞くことで情報を共有し、共通理解できることが増えていきます。

皆さまのご意見を大切に地域連携検討会と『にんにん連携』に取り組んでいきたいと思ひます。皆さまの参加をお待ちしています。来年度もよろしくお祈ひします。

研修会報告



第 10 回 甲賀医療圏 地域連携検討会が開催されました



日 時：平成 25 年 1 月 22 日（火） 15 時～17 時

場 所：甲賀合同庁舎 4A 大会議室

参加者：医療関係者 6 人、居宅介護支援事業所 9 人、サービス事業者 6 人、行政等 11 人

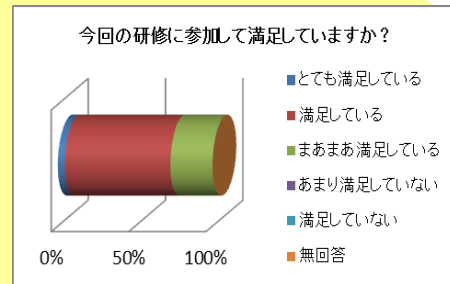
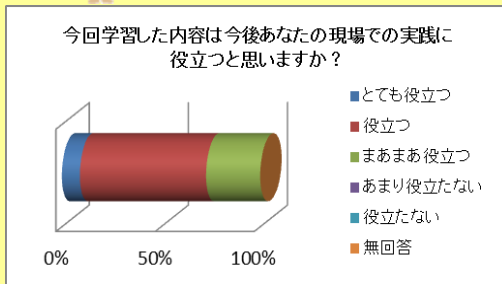
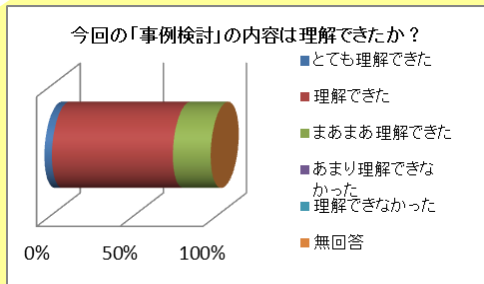
計 32 人

テーマ：「顔の見える関係から始まる在宅支援

～高齢者虐待ケースについて～

内 容：地域包括支援センター、介護支援専門員、地域医療連携室の担当者、それぞれの立場から発表し、その後グループワークで、病院と在宅との連携を考えた。

アンケート集計の結果



《感想から一部抜粋》

- ・ 関わりの中で、迷いが多く他職種と連携すれば不安も軽減できると感じた。
- ・ 他職種の話し合いは勉強になる、今後の対応についての学習になるので続けて欲しい。
- ・ 入院されてからは、地域連携が頼り、医療連携を図る為にも重要な役割を担っていると思う。
- ・ 今後、介護力の乏しい事例、介護判断能力が弱い事例、独居の事例、頸椎損傷のリハビリについての研修会もお祈ひしたい。

研修会の感想（発表者の声）



水口地域包括支援センター
釜谷 氏

今回の研修は、虐待ケースについての連携をお題にいただき、どうしようかと迷いました。虐待の医療連携はありそうであまりありません。警察との連携は多いですが・・・

しかし、報告したケースは私自身の受け持ちケースではなかったのですが、医療依存度が高く、在宅生活での支援がかなり必要であり、それに加えて虐待の支援が必要で、非常にいろいろな要素が組み合わさった困難な事例でした。

今後も、まだまだ虐待事例等困難ケースの増加が予想されます。今回の事例を参考にしながら、いつどの部署のだれがどのように支援していくか、明確な役割分担ができ、タリに本人や家族等の支援ができるよう医療と介護、各関係者との連携は必要不可欠だと思います。

甲賀市社協 ケアプランナー
ぬくもり 石山 氏

今回の事例は、高齢になってから娘家族と同居し、長年の親子関係で、お互いに負担をかけないようにとの思いから、結果として介護放棄、入退院を繰り返しながら状態が悪化していくケースだった。入院、退院時の病院地域連携室と医師、看護師、在宅医との連携のほか、虐待ケースとして地域包括支援センター、介護サービス事業所が加わり、情報共有や役割分担がうまくできたと思っていた。しかし、今回の研修で他職種の参加者から意見をいただき、気づかない点が多くあった。済んでしまった事として片付けしないで、振り返りも必要と感じた。本人の思いを尊重しながら、娘家族への働きかけについて、幅広い視野で対応できる事を教えていただいた。



湖南市地域包括支援センター
木村 氏

僕自身は2回目の出席ですが、日頃お世話になっている皆さんと、とても良い雰囲気の中で、事例や研修を通して地域のことを考えることができる機会なので、楽しく参加させていただいています。

今回は虐待という視点から、事業所と包括と病院が密に連携を取りつつ支援を進めた事例のふり返りでしたが、顔の見える関係が地域のすみずみまで広がり、ご本人やご家族の方に「よかった」と思いを残していただけるような事例を、一つ一つ積み重ねていくことで、この検討会のように広域で取り組む意義が一層深みを増していけばいいと思います。



甲賀市 長寿福祉課
福西 氏

甲賀市の昨年度高齢者虐待の相談件数は 74 件、この内虐待と判断された事例は 57 件でした。これらの虐待事例については、虐待防止個別事例検討会を開催し虐待の改善に向け検討しています。会議にはケアプランナーをはじめ、必要に応じて関係者も一緒に参加していただき検討しています。これまでも病院の地域連携担当にも参加していただいた事例もあるので、今後多職種連携の中で対応できるよう進めていきますのでご協力をお願いします。



司会：信楽中央病院
奥田 氏

今回は、高齢者虐待の事例発表を通しての検討会でした。ご参加いただいた方から、似たような事例で、悩んでいるというお声も聞かれました。色々な職種の方がひとつの事例を通し共有できる部分と次に生かせる案や福祉資源などを提供しあう事により気持ちが楽になり明日からの業務に還元できるのが、この会の醍醐味だと思います。そうした地道な積み重ねにより、地域の皆さんが安心して暮らせる町作りに貢献できるのではないかと感じます。今後もにんにん連携がますます発展いたします事を願っています。

次回の研修会のお知らせ

来年度の参加もお待ちしております！！

来年度の研修会については、決まり次第お知らせさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。又、第 6 号発行が遅れました事をおわび申し上げます。

